

# 新型コロナ

**無料検査所県内整備**

## 一定条件の無症状者

新型コロナウイルス対策で、県は、一定の条件を満たす無症状者を対象とした無料検査所の「1カ所」を年内に整備する。年明けに順次、県内全域へと拡大させていく。八日の県議会本会議の一般質問で、杉本達治知事が明らかにした。=新型コロナ関連①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳面

### まず1カ所

盛り込んだ。

杉本知事は、簡易な抗原検査を急頭に「今のところ

順次、各プロックごとに  
きるよう進めたい」と述べた。

P.C.R.検査は、大手の民間検査会社に県内での設置意向を確認しているとし

た。

無料検査が受けられるケ

ースは、パッケージ活用と感染拡大期の二パターンがある。パッケージ活用は、健康上の理由などでワクチンを接種できない人が、外食やイベントの制限緩和に必要な陰性を証明するため。感染拡大期は県の指標で警報または特別警報以上を指す。行政検査の対象にならない無症状者のうち、「知らない無症状者のうち、

高齢者施設を訪問予定で事前に感染不安を解消したい場合などが想定される。西本、山本建（県会自民党）西議員は、検査回数に制約がないかどうかをただした。県健康福祉部の窪田裕行部長は「無料検査の回数に制約はない。必要性が認められれば検査を受けられる」と答えた。

象になる。

国の方針を受けて県は、十二月補正予算案にP.C.R.検査や抗原検査を無料化するため十五億円余りを計上している。検査所は、医療機関や薬局、民間検査会社が設置できる。県は補正予算案に検体採取のスペースを新たに整備する費用（一カ所の上限百二十万円）を